

# H27 アクションプランシート 事業 No.13

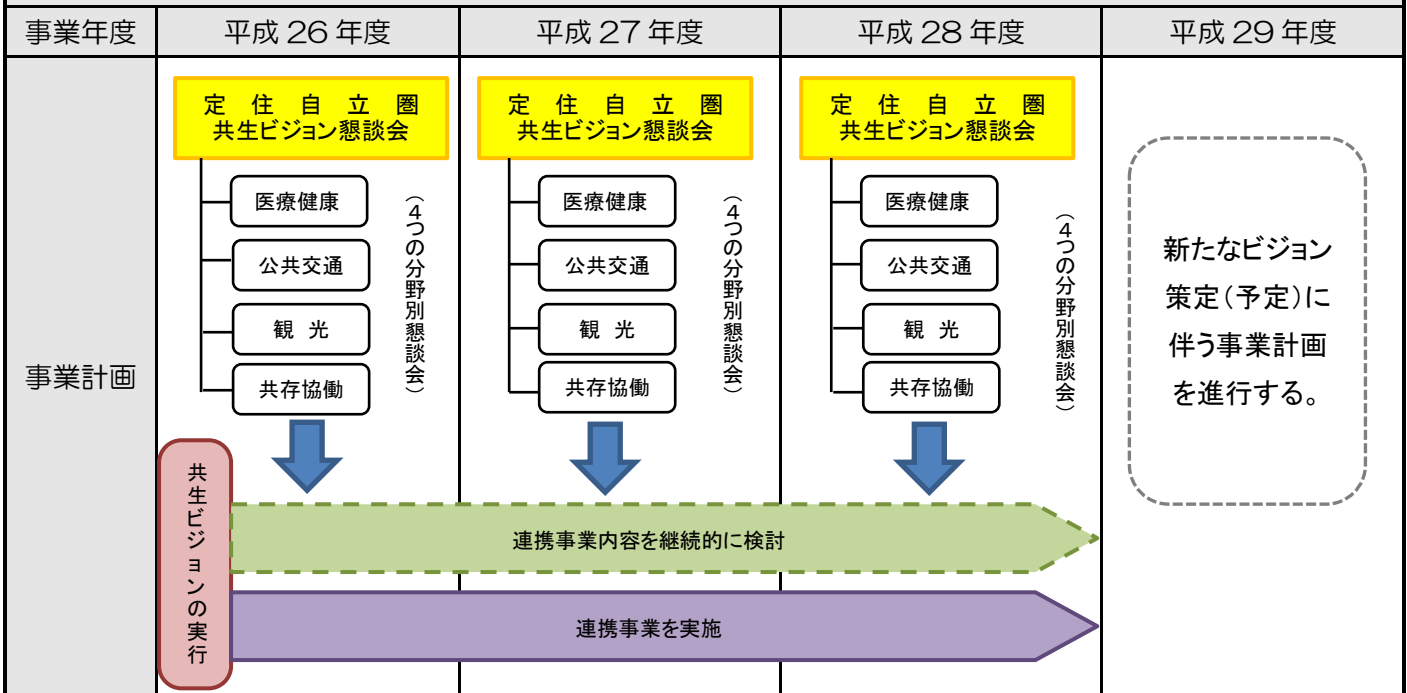
## ①事業の基礎情報

事業名	定住自立圏推進事業				担当部・グループ名	企画部 総合政策グループ		
実施期間	平成 26 年度～平成 29 年度				担当 GL 氏名	木村 忠好		
新規・継続の別	継続事業				電話番号(内線)	52-1111(内線 352)		
総合計画(基本計画)体系	個別目標	(2) 将来を見据えた計画的・効果的な財政運営を行います				予算・事業上の 予算書上の 事業名	各所管グループで 予算計上	
	こんなことに取り組みます	市民ニーズを反映した行政サービスを展開し、行政サービスの向上につながるものについては、国・県・近隣市などをはじめとした関係機関との広域的な連携を行います。						
	みんなで目指すまちづくり	—						
	指標名	現状値 (H25)	—	実績値 (H26)	実績値 (H27)			実績値 (H28)

## ②事業の概要

	何を・どうした(内容) ※箇条書きで簡潔に記載してください。	いつ
これまでの取組み	◆定住自立圏共生ビジョン懇談会において各分野の進捗状況の確認を行った。	H26.6～
	◆圏域内管理職を対象とした職員合同研修を実施した。	H26.10
	◆刈谷市美術館において、かわら美術館企画展チケットを販売した。	通年
これまでの取組みから 見えてきた課題 ・ 事業の必要性と 実施の背景	◇社会経済状況の低迷や住民意識・行動の変化、財政の疲弊などから市単独によるフルセットの生活機能を確保することが困難になっている中、定住自立圏構想によって、基礎的自治体となる中心市と周辺市町が役割分担し、生活に必要な都市機能を確保するとともに、生活の利便性や地域の魅力向上を図ることにより、人口定住を促進し、将来にわたり持続可能なまちづくりを推進する。 ◇衣浦定住自立圏として、何に重点を置き、どうアクションを起こしていくのかを明確に定めていく必要がある。	
目的 (何をどうするために)	★衣浦定住自立圏を形成する3市1町(中心市：刈谷市、構成市：知立市・高浜市・東浦町)が密接に連携し、圏域全体の魅力を向上させることにより、「住んでみたい」、「住んでよかった」、「いつまでも住み続けたい」と思えるまちづくりを進める。	
対象 (誰・何を対象に)	市民	対象の数量 46,373人
最終目標 (どのような状態を目指すのか 最終的に何がどうなれば達成か)	☆生活の利便性や地域の魅力が向上し、市民が高浜市に「住んでみたい」、「住んでよかった」、「いつまでも住み続けたい」と思っているまちづくりへと進んでいる。	
備考	<ul style="list-style-type: none"> <li>定住自立圏の形成に関する協定/刈谷市：平成23年4月1日～33年3月31日(10年間)</li> <li>衣浦定住自立圏共生ビジョンの計画期間/平成24年度～28年度(5年間)</li> </ul>	

### ③事業の工程表



平成 27 年度のアクション (今年度は何をするのか?) ※箇条書きで簡潔に記載してください。

いつまでに (期限)	何を・どうする (内容)
通年	◆衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会において各分野の進捗状況の確認を行う。
通年	◆第 2 次衣浦定住自立圏共生ビジョン (計画期間:平成 29 年度~33 年度) 策定に向けての検討会議に参加する。
通年	◆衣浦定住自立圏共生ビジョンに基づき、各市町で事業を実施する。

### ④事業にかかる事業費概要

事業年度		平成 26 年度	平成 27 年度 (当初)	平成 28 年度 (見込)	平成 29 年度 (見込)
事業費総額(千円)		各所管グループで予算計上			新たなビジョン策定(予定)に伴う予算編成
財源内訳	一般財源				
	特定財源				
	国・県支出金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
補助事業・単独事業の別		単独事業	単独事業	単独事業	

### ⑤事業にかかる事業費積算基礎

平成 27 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各所管グループで予算計上</li> </ul>
特記事項 (実施期間を通じて)	<ul style="list-style-type: none"> <li>各分野別懇談会および各分野個別において、各事業の取組みについて検討し、その課題や効果について調整を行う。</li> <li>衣浦定住自立圏共生ビジョン懇談会において、各分野別懇談会および各分野個別の取組みの進捗状況の確認を行う。</li> </ul>